

2019年3月の★ ベトナム株式市場について

3月のベトナム株式市場の動向

ベトナム株式市場の動きを表すベトナムVN指数は、2019年3月末時点で980.76となり、前月比+1.6%、年初来+9.9%となりました。また、ホーチミン証券取引所における3月の日次取引高は2億190万米ドルとなり、2月の1億8,540万米ドルを超える取引高となりました。

ベトナム株式市場における2019年第1四半期の大きなトピックは、同国への海外直接投資の増加です。同国への海外直接投資額は41.2億米ドルに達し、前年同期比+6.2%となりました。同国グエン・スアン・フック首相は、2020年までに国内外の投資家からの投資手続きを簡略化するほか、ホーチミン証券取引所とハノイ証券取引所を統合し新たにベトナム証券取引所を設立する改革案を承認しています。これらの措置により、同国への海外直接投資の一層の増加に伴う同国通貨や株式市場への資金流入が期待されます。

ベトナムドンの動き

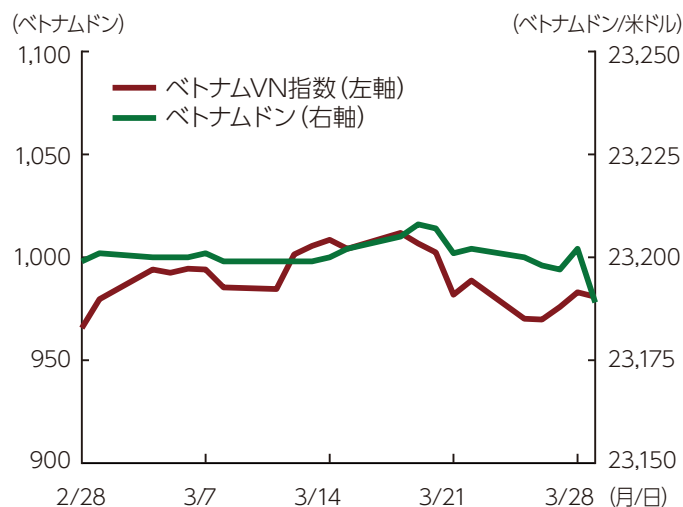
3月のベトナムドン/米ドルの動きは、最安値1米ドル=23,208ベトナムドンから最高値1米ドル=23,189ベトナムドンでの狭いレンジでの値動きとなり、1ヵ月を通して安定した動きとなりました。

3月の注目企業: Vinamilk

Vinamilkは1976年に設立されたベトナム最大級の食品・乳製品メーカーです。同国内に24万カ所以上の販売拠点をもち、有名ブランドとしてベトナムに根付いています。同国全人口に占める都市部の割合は35%程度と低水準ですが、都市部における食品など日用品の消費量は地方の2倍です。都市部へ人口が遷移していくことが見込まれている同国では、今後も都市部における日用品の消費量の増加が見込まれ、同産業の成長が期待されます。

同社は地方での販売を拡大するほか、都市部でより高価な製品を販売することで2021年まで国内シェアを毎年1%上昇させるだけでなく、高い成長余力のあるフィリピンやインドネシア、ミャンマーなどASEAN(東南アジア諸国連合)への輸出を増やす経営戦略を立て、さらなる成長をめざしています。

【ベトナム株式市場と為替の推移】



※期間: 2019年2月末～2019年3月末(日次)
出所: プルーフバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成



【Vinamilkの株価推移】



※期間: 2015年3月末～2019年3月末(日次)
出所: プルーフバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記の個別銘柄はあくまでも一例であり、掲載した個別銘柄の売買を推奨するものではありません。
※上記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、上記見通しは資料作成時点の見解であり、将来の市場環境の変動等により、予告なく変更される場合があります。
※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。



今後の見通し

ベトナムは今後5年間、周辺諸国を相対的に上回る高い経済成長を続けるとみています。同国のさらなる都市化や中間所得層の拡大、クレジットカードの普及などにより個人消費の増加が期待されるためです。また、同国内のeコマースや観光業の拡大も追い風となるとみています。加えて、農業から製造業への労働人口の遷移による収入の増加も民間消費の拡大を後押しするとみています。

財政面では、政府は2020年までに財政赤字を対GDP比3.5%まで削減する方針を決定し、2017年から財政面の強化に着手しています。

ベトナムVN指数の予想PER(株価収益率)は15.9倍と、予想EPS(1株あたり純利益)成長率が20%であることを加味すると割高感はありません。また、MSCI指数における「エマージング」指数への採用も引き続き期待されているため、これらも今後の同国株式市場を支える要因とみています。

★ VIETNAM ★



【投資信託に係るリスクと費用】

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券(REIT)などの値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されていくものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

●投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料: **上限3.78% (税込)**

換金時手数料: **換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。**

信託財産留保額: **上限0.5%**

■お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬): **上限年率2.6824% (税込)**

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料: 上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書(交付目論見書)等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用(上限額等を含む)を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、または同時にお渡しますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となる場合があります。

【ご注意事項】

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は
 1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。
 2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
 3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【指数の著作権等】

- ベトナムVN指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はホーチミン証券取引所に帰属します。



商号等:アセットマネジメントOne株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
 加入協会:一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会